

みずほCustomer Desk Report 2023/04/27号 (As of 2023/04/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	133.75
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.70	1.0979	146.75	1.2416	0.6637
SYD-NY High	133.94	1.1096	147.90	1.2515	0.6639
SYD-NY Low	133.01	1.0960	146.48	1.2402	0.6592
NY 5:00 PM	133.69	1.1039	147.60	1.2470	0.6604
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,301.87	▲ 228.96	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	11,854.35	55.19	日本10年債	0.4600%	▲0.0100%
S&P	4,055.99	▲ 15.64	米国2年債	3.9478%	0.0008%
日経平均	28,416.47	▲ 203.60	米国5年債	3.4932%	0.0467%
TOPIX	2,023.90	▲ 18.25	米国10年債	3.4438%	0.0451%
ソコ日経先物	28,345.00	▲ 55.00	独10年債	2.3845%	0.0085%
ロンドンFT	7,852.64	▲ 38.49	英10年債	3.7250%	0.0300%
DAX	15,795.73	▲ 76.40	豪10年債	3.3070%	▲0.1580%
ハンセン指数	19,757.27	139.39	USDJPY 1M Vol	10.95%	▲0.08%
上海総合	3,264.10	▲ 0.77	USDJPY 3M Vol	11.19%	0.21%
NY金	1,996.00	▲ 8.50	USDJPY 6M Vol	10.91%	▲0.02%
WTI	74.30	▲ 2.77	USDJPY 1M 25RR	▲1.95%	Yen Call Over
CRB指数	264.94	▲ 3.84	EURJPY 3M Vol	10.93%	0.09%
ドルインデックス	101.47	▲ 0.40	EURJPY 6M Vol	10.94%	0.03%

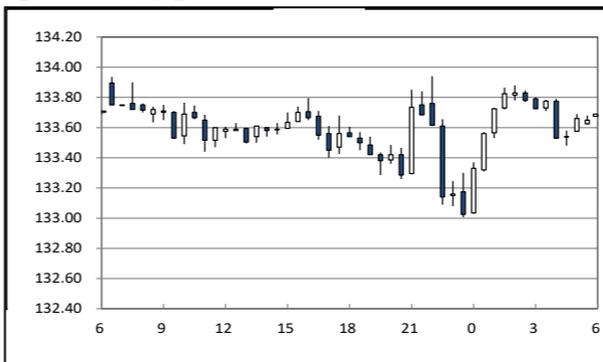
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月26日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	1Q 1.4%/7.0%	1.3%/6.9%
	10:30	豪 CPIトリム平均値(前期比/前年比)	1Q 1.2%/6.6%	1.4%/6.7%
	15:00	独 GfK消費者信頼感	5月 -25.7	-28.0
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	3月 0.1%	0.1%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	3月 3.2%	0.7%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	3月 0.3%	-0.2%

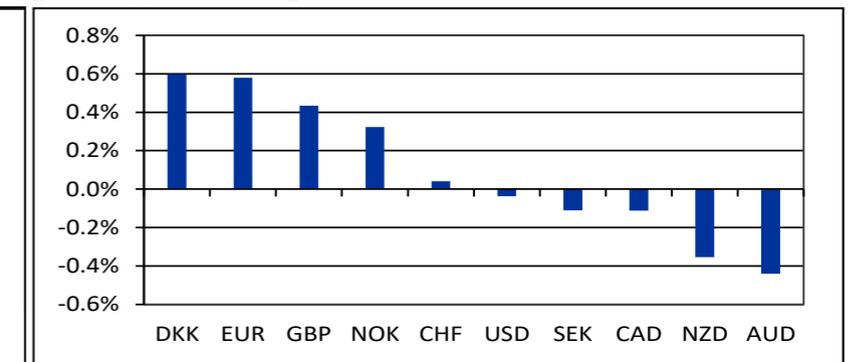
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月27日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	4月 -	-17.5
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	4月 0.0	-0.2
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	4月 9.5	9.4
	21:30	米 新規失業保険申請件数	22-Apr 248k	245k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q A 1.9%	2.6%
	21:30	米 個人消費	1Q A 4.0%	1.0%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	1Q A 4.7%	4.4%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	3月 0.8%	0.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.00-135.00	1.0900-1.1100	146.00-149.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル/円は、一時134円付近まで上昇するも、金融不安の再燃などから133円台で上値重い推移となった。具体的には、昨晚発表された米・3月耐久財受注が予想を上回る好結果となったことを受けて米金利が上昇しドル/円も上昇した。しかし、経営悪化している米地銀について米政府が介入に消極的との報道が伝わると、一転、金融不安の再燃からドル/円は上値重く推移した。  
 本日もドル/円は上値重い推移を予想。昨日に引き続き、金融不安に対する懸念からドル/円は上値重い推移が継続すると考えている。但し、今晚発表予定の米・1-3月期PCEコアデフレーターは前回よりも上昇が予想されており、予想通りの結果となればドル/円は底堅い推移に転じる可能性もあるか。

東京	東京時間のドル円は、133.70レベルでオープン。前日の流れを引き継ぐ形で米金融信用不安から日本株は下落・米金利が低位で推移する中、リスク回避姿勢からドル円は正午に向けて次第に下落。一方で、午後は日本株が押し目買いで支えられたことで上昇に転じ、結局オープンと同じ133.70レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.70レベルでオープン。特段の材料がない中、じり安で推移し133.26まで売られる。その後、米金利の上昇を背景に一時133.85まで反発し、結局133.75レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0994レベルでオープン。金融不安の再熱により欧州株が銀行株を筆頭に下落する中、1.1061まで底堅く推移し、結局1.1047でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台後半でスタート。前日発表された米大手企業決算は堅調だった一方、米金融不安の再燃や米景気減速が警戒される中、一時133円台前半まで下落するも、オープン直前に円が売られ上昇し、133.75レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月耐久財受注(前月比)が予想を上回るも、コア資本財の受注は予想より悪化し、米経済減速が懸念され、並びに米地銀の経営不安も重なり、リスクオフの円買いが進み、133.01まで急落。その後は米金利が反転上昇した事を受け、円が売り戻す展開となり133.80まで反発。午後は米地銀がFRB貸出へのアクセスが制限される可能性があるとのヘッドラインが伝わると、経営不安の長期化が懸念され、再びリスクオフの円買いが優勢となり、133円台半ばまで反落。終盤は次第に静かな動きとなり、133.69レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。独5月GfK消費者信頼感が予想より悪化しなかった事を受け、ユーロ買いが先行。その後も欧米金利差縮小を意識してか、買い優勢となる中じり高で推移し1.1047レベルでNYオープン。朝方は米株式市場の軟調な展開を受け、ドル売りから1.1096まで値を上げる。しかし、その後米金利が反転上昇を受け1.11台手前で失速し、1.1033まで反落。午後は横ばいでの推移が続ぎ、1.1039レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・木村